

E8エミュレータソフトウェア V.2.06 Release 01への リビジョンアップのお知らせ

オンチップデバッグエミュレータE8のエミュレータソフトウェアをV.2.06 Release 00 からV.2.06 Release 01 にリビジョンアップしました。

1. リビジョンアップ内容

1.1 リビジョンアップされたエミュレータデバッグ

E8エミュレータソフトウェア V.2.06 Release 01に含まれるデバッグを以下のとおりリビジョンアップしました。

- R8C/Tiny E8エミュレータデバッグ V.2.02.01
- M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッグ V.1.02.01
- M32C/80 E8エミュレータデバッグ V.1.01.01

注意： H8/300H Tiny, H8/300H Super Low Power, H8/300L Super Low Power E8エミュレータデバッグはリビジョンアップされていません。
V.1.01.01から変更ありません。

1.2 エミュレータデバッグの改修

割り込み処理関数内からステップ実行でメイン処理に復帰した際、割り込み許可フラグ (Iフラグ) が1にならない問題を改修しました。

注意： H8/300H Tiny, H8/300H Super Low Power, H8/300L Super Low Power E8エミュレータデバッグでは問題は発生しません。

1.3 CコンパイラパッケージM3T-NC30WA無償評価版のリビジョンアップ

同梱のCコンパイラパッケージM3T-NC30WA無償評価版をV.5.40 Release 00 からV.5.40 Release 00A へリビジョン

アップしました。

リビジョンアップ内容の詳細は2006年2月1日発行のRENESAS TOOL NEWS 資料番号：RSO-M3T-NC30WA-060201Dを参照ください。

2. 制限事項

H8/38327FおよびH8/38347Fマイコンをデバッグする際、LCD機能または WDTリセット機能を使用すると、Communication Timeout Errorを出力する場合があります。詳しくは2006年2月1日発行のRENESAS TOOL NEWS 資料番号：RSO-E8_2-060201Dを参照ください。

3. リビジョンアップ方法

オンラインリビジョンアップ(無償)が可能です。

ダウンロードサイトからアップデートプログラムの実行ファイルをダウンロードして実行してください。

補足： アップデートプログラムはフルパッケージ版とライト版があります。フルパッケージ版は、E8エミュレータデバッガ、統合開発環境 High-performance Embedded Workshop、Cコンパイラパッケージ無償評価版、ユーザーズマニュアルおよびオートアップデートユーティリティが同梱されています。
ライト版は、E8エミュレータデバッガおよびHigh-performance Embedded Workshopのみです。

注意事項

アップデートプログラムを実行すると、High-performance Embedded Workshop V.4.00.02以前のバージョンがインストールされている環境では、V.4.00.03にリビジョンアップされます。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。